

八多小学校だより

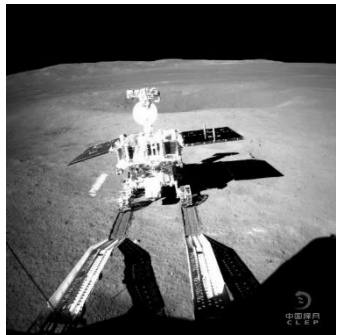
平成30年度
2月号
神戸市立八多小学校



人は、探究する生き物

平成31年になってから、あっという間に2月になりました。平成も残り3か月になります。八多小学校では、毎日寒い日が続いています。まだまだしばらく寒い日が続きそうです。インフルエンザも勢いが衰える様子がありません。手洗いをしっかりして、予防に努めていきたいと思います。また、1月は幼小中合同授業公開デーや合同避難訓練・防災集会へのご参加、ありがとうございました。また、学校アンケートにもご協力いただき、ありがとうございました。

これからも、八多小学校の教育活動に、ご協力よろしくお願いたします。



さてこの冬は、宇宙に関する素晴らしいニュースがたくさんありました。私が印象に残っているものの1つ目は、2019年1月3日午前10時26分(北京時間)世界で初めて月の裏側に宇宙船が着陸したことです。

月は地球に同じ面ばかりを見せているので、月の裏側を見ることはなかなかできませんでした。それを中継衛星を使って、人類初めて月の裏側の様子をはっきり見ることができました。私が子供のころに聞いた話では、月の裏側には宇宙人が住んでいるとか、UFOの基地があるとか、様々な想像の世界が広がっていました。そのような時に大阪で開かれていた万国博覧会に行って何時間も並び、月の石を見に行きました。月の石を見た時には、自分も大きくなったら、月に行こうと思ったものです。2つ目は、7月号でも書きましたがいよいよはやぶさ2が、小惑星 Ryugu (リュウグウ) に着陸するようです。

小惑星 Ryugu (リュウグウ) を調べることにより惑星の起源や地球の海の起源、生命の起源を見つけることができるかもしれません。

宇宙を知ることは、地球そして自分を知ることにつながりそうです。

この1月24日(木)に5年生が「八多っ子けんこうタイム」で、「ゲームの影響」というテーマで発表しました。ゲームが体に与える影響について、自分の考えをしっかり持って、発表することができました。

身近な題材から興味を持ったことをとことん調べる姿勢は、大切にしてほしいと思います。そのことが、いずれ生命の起源や宇宙の成り立ち、そして私たち人類の誕生まで解き明かしてくれることにつながるかもしれません。

2月に入ると学校では、今年度のまとめの時期に入ります。ご家庭でも保護者の方々の中には学習のまとめや生活の見直しを子供たちに薦めたり、来年度の準備をされたりする方も、おられると思います。そのような時には「八多スタンダード」を確認していただき、活用していただくとありがたいです。ご理解・ご協力を、よろしくお願いいたします。

教頭 濱野 正英



“ありがとう”の貯金箱

人から何気なく“ありがとう”と言われると、何だか心が嬉しくなったり、時には得意気になったりしませんか?大人の私たちでもそうですから、子供にとっては、“ありがとう”の言葉は、魔法の言葉であり、心の栄養にもなります。心の貯金箱に、“ありがとう”の言葉の貯金が貯まるほど、子供の心は豊かになります。また、心の豊かさから、周りへの優しさや心遣いが、生まれてきます。そして、子供自身の自信へとつながり、次に進む勇気へとつながります。特別な時よりも、いつでも・どこでも“ありがとう”と、声をかけてあげましょう。

これからも、心優しい八多小学校の児童の心の健康を見守ってまいります。

養護教諭 平井 知代